

2018年12月17日  
住友生命保険相互会社

＜第29回＞ ～「平成」と共に歩んだ～

**2018年の世相を反映した**

**『創作四字熟語』50編**

住友生命保険相互会社（社長 橋本雅博）は、2018年の世相を的確に表現した『創作四字熟語』を広く一般から募集しました。

この企画が生まれたのは、今から28年前。1年の出来事を漢字四文字で振り返るという、いわば『ことばの遊び』を提唱したところ、多くの人々の共感を呼び、“その年に感じたことを漢字に託す”という全く新しい概念が誕生しました。

まさに「平成」の時代と共に歩み、29回目を迎える今回は、全国から過去最多となる14,209作品が寄せられました。

以下は、ご応募いただいた作品についての集計と審査結果です。

## 〔募集概要〕

- 募集期間 2018年9月13日～11月2日
- 有効作品数 14,209作品
- 募集地域 全国（47都道府県）
- 募集方法 ハガキ、当社規定の応募用紙、インターネット、スマートフォンによる応募。  
記入事項は、未発表の作品およびその読み方、元のことばと簡単な説明。
- 審査員 俵 万智（歌人）
- 作品応募者の内訳（複数回答）

全 体	男 性	女 性	不 明	～10代	20代	30代	40代	50代	60代～	不 明
14,209	11,832	2,375	2	164	730	1,053	5,990	2,473	3,790	9
100.0	83.3	16.7	0.01	1.2	5.1	7.4	42.2	17.4	26.7	0.1

上段＝作品数、下段＝構成比（％）

## 〔作品傾向〕

- 応募作品の内容（ジャンル別）
  - 1) 政治・経済 （総裁選、IR実施法、仮想通貨、ふるさと納税、豊洲市場など） 2,428作品(17.1%)
  - 2) 社 会 （自然災害、猛暑、スーパーボランティア、加重逃走など） 4,932作品(34.7%)
  - 3) 国際情勢 （米朝首脳会談、米中貿易摩擦、英王子挙式、タイ洞窟救出など） 1,136作品( 8.0%)
  - 4) 文化・スポーツ （ノーベル賞、冬季五輪、二刀流、高校野球、パワハラ問題など） 4,509作品(31.7%)
  - 5) 流行・芸能 （人気歌手引退、ヒット曲、ヒット映画、人気お笑い芸人など） 1,204作品( 8.5%)

## 〔今年の傾向〕

### 地震、台風、連日の猛暑！記録づくめの「平成最後の夏」

今年の日本列島は多くの自然災害に見舞われました。7月の「西日本豪雨」をはじめ、多くの地域で観測史上最多の降水量を記録し、「**雨威天変**」。台風も「**台量発生**」し、なかでも21号は猛威を振るい西の空の玄関口「**関災空港**」では、高潮による浸水や連絡橋の破損など甚大な被害を受けました。また、24号では強風による塩害が発生し「**塩線不通**」となり、電車の運行に影響が出るなど各地に大きな爪痕を残しました。

また震度5以上を観測する地震も頻発しました。4月に「島根県西部地震」、6月に「大阪府北部地震」が発生。9月の「北海道胆振東部地震」では、道内全域で前代未聞の“ブラックアウト”が発生し、「**地震暗来**」となりました。明かりが灯った時には「**電力感謝**」とその有難さが身に染みしました。被害を受けられた地域の1日も早い復旧を祈ります。

そして平成最後の夏はとにかく暑かった！「**猛夏襲来**」と埼玉県熊谷市で国内最高気温41.1度、都内でも観測史上初の40度超を記録しました。気象庁は『命の危険がある暑さ』と「**対処猛暑**」を呼び掛けましたが、熱中症での救急搬送は過去最多に。あまりの暑さに「**夏期休蚊**」していたのでしょうか、今年は蚊に刺されることがほとんどなかったという人も多かったようです。

### 平昌冬季五輪、史上最多のメダル獲得

今年は、冬も暑…いや熱かった！金4個を含む史上最多13個のメダル獲得という「**冬季燦然**」の結果となった平昌冬季五輪では、羽生結弦選手が日本人の男子フィギュアスケート史上初となる大会2連覇を達成。『誰が取ろうが、僕も取ります』とのコメント通り、まさに「**結弦実行**」の圧巻の演技で世界を魅了しました。スピードスケート女子団体パシュートでは「**一身同隊**」のチームワークで、見事金メダルを獲得。“カー娘”と呼ばれて人気を呼んだ女子カーリングでは「**娘軍奮闘**」の大活躍で日本勢初のメダルをもたらしました。流行語にもなった『そだねー』や、『もぐもぐタイム』と呼ばれたハーフタイムでのおやつにも注目が集まりました。

注目といえば、フィギュアスケート女子・金メダリストのアーリーナ・ザギトワ選手に秋田犬保存会が子犬を贈呈し、「マサル」と命名されました。これからも一緒に「**才色犬備**」の活躍を期待します。

## 願うは完全非核化 米中関係は荒れ模様… 心温まる明るい話題も

国際情勢は、6月に史上初の米朝首脳会談が開催され、米国・北朝鮮の両国が歩み寄って「**朝米歩会**」となり朝鮮半島の完全非核化が約束されました。一日も早い非核化を祈るばかりです。

また、米国による中国製品に対する追加関税の問題で荒れ模様となり、「**貿易荒渉**」の余波による日本経済への影響も気になります。

一方で明るい話題もありました。5月の英王室のヘンリー王子とメーガン・マークルさんの挙式では「**祝賀王子**」と世界中がお祝いムードとなり、7月のタイの洞窟で繰り広げられた「**一心洞泰**」の救出劇では、取り残された少年たちの無事な生還に拍手喝采となりました。

## 消費税増税の流れが加速、IR実施法成立、ようやく誕生した豊洲市場

国内では、9月の自民党総裁選で安倍晋三首相が「**安晋三選**」を決め第4次安倍改造内閣が発足。早々に消費税率の引き上げを表明し、来年から消費税が8%から10%へ「**八転十消**」となる流れが一段と加速しそうです。また、地方財政を支援する「**古里悩税**」は、エスカレートする高額返礼品が問題化して総務大臣が見直しを表明、自治体では対応に苦悩しています。

経済の新たな流れとしては、カジノを中核とする統合型リゾート（IR）実施法が成立し「**賭色公然**」となりました。新たな経済効果を期待したいところですが、ギャンブル依存症対策もしっかりと検討してほしいところです。10月には、築地からついに移転した「**豊洲始場**」が、新たな“日本の台所”として歴史を刻み始めました。

## 仮想通貨流出、風疹患者増加、重すぎるランドセル問題

1月、成人式を前に着物販売・レンタル業者が突然休業するという「**振袖詐欺**」で、多くの新成人が晴れ着姿を披露できないという事態がおこり、仮想通貨取引所への不正アクセス問題では、約580億円相当が「**通仮流出**」となり世間を騒がせました。世間を騒がせたと言えば、刑務所や警察署からの逃走事件。連日の報道で日本中の注目を集め、「**逃奔世騒**」となりました。私たちが安心して暮らせるよう今後の再発防止の徹底をお願いします。

全国的に被害の拡大が心配されるのが風疹の大流行です。「**風疹禍惨**」とならないよう厚生労働省が抗体検査を呼び掛けました。また、文部科学省が呼び掛けたのは、小学生の重すぎるランドセル問題です。毎日すべての教科書を持ち帰るよう指導していた学校に対して、宿題で使わない分は教室に置いて帰る“置き勉”が認められ「**応急書置**」となりました。

## サッカーW杯、高校野球、全米テニスと盛り上がったスポーツ界、一方でパワハラ問題も

平昌冬季五輪以外にもスポーツの話題が盛りだくさんの1年でした。3月、米大リーグ・エンゼルスに移籍した大谷翔平選手がメジャーデビュー。「**一投両打**」の“二刀流”で新人王に輝きました。6月のサッカーW杯ロシア大会では、大迫勇也選手の“半端ない”ゴールをはじめ、日本代表選手たちの頑張りで決勝トーナメントに進出。「**一蹴懸命**」な姿に心うたれました。8月、第100回を迎えた全国高校野球選手権大会には、史上最多56校が出場。「**百夏繚乱**」でもつれた好試合が多く見られましたが、中でも秋田県勢として103年ぶりに決勝進出した金足農業高校の活躍は目覚ましく、『夢と感動をありがとう』と「**金農感謝**」のメッセージが多数寄せられました。しかし、そこに立ち塞がった大阪桐蔭高校が「**春夏再桐**」となる史上初2度目の春夏連覇という偉業を成し遂げました。

ジャカルタで開催されたアジア大会では、「**六冠笑嬢**」を達成した“スーパー女子高生”競泳の池江璃花子選手が最優秀選手（MVP）を獲得。9月には、女子テニスの大坂なおみ選手が全米オープンで優勝し「**全米庭覇**」を達成。世界に“なおみ節”を轟かせました。

一方、華々しい活躍を横目に、スポーツ界ではパワハラなどの不祥事も話題となりました。大相撲では傷害事件や親方の突然の引退などで「**角界騒揺**」が続き、アメフトやレスリング、ボクシング、体操など様々なジャンルでパワハラ問題が続出。今後の「**威圧廃止**」を願う声が聞こえます。

## 国民栄誉賞、世界文化遺産登録、ノーベル賞と快挙が続く

将棋界史上初の永世七冠を達成した羽生善治氏と、囲碁界で初の七冠独占を2度果たした井山裕太氏の両氏に国民栄誉賞が授与され、将棋界、囲碁界ともに初の快挙で「**名誉盤界**」となりました。また、世界オセロ選手権で歴代最年少の11歳で「**偉児黒白**」した福地啓介君など新時代を担う10代の活躍も目覚ましい年でした。

快挙といえば、小惑星探査機「はやぶさ2」が地球から約2億8000万キロ離れた小惑星「リュウグウ」へ到着。「**隼火竜到**」で採取されるデータから何が解明されるのか、今後の結果が楽しみです。また、国内では6年連続で22件目となる世界遺産に、長崎と天草地方の「**潜伏遺産**」の登録が決定し、日本の隠れた文化に脚光が当たりました。

医学界にも朗報が届きました。がん免疫療法の発展に貢献したとして、京都大学の本庶佑特別教授にノーベル医学生理学賞が「**対癌賞受**」されました。この研究をもとに全く新しいがん治療薬「オプジーボ」が開発され、「**免力薬助**」となるか世界中から注目が集まっています。さらなる医学の進歩により、1日も早くがんが不治の病でなくなることを切望します。

## キーワードは“ブレイク”？ アムロス続出も

今年も数々のヒット曲や映画、人気お笑い芸人が誕生しました。映画界では、『万引き家族』がカンヌ国際映画祭の最高賞パルムドールに輝き、映画館は連日「**大入万引**」となりました。ダンスボーカルグループ「DA PUMP」が約3年半ぶりのシングル『U.S.A.』をリリースすると“ダサかっこいい”と「**踊米繁盛**」で大ヒット。16年ぶりの紅白出場をはたすなど再ブレイクしました。お笑い界では、様々な芸能人の顔マネを繰り出すお笑いコンビ「野生爆弾」のくっきーさんが、「**顔面笑白**」の“怪物ぶり”で人気を呼び、リズムに合わせて物陰から“ひょっこり”と「**顔出奇没**」するネタで一躍人気者となったあの人も大ブレイクとなりました。

一方、多くの人々に惜しまれつつ檜舞台から姿を消した人も。今年9月に引退し「**安室降歌**」となった“平成の歌姫”安室奈美恵さん。多くの“アムロス”ファンが続出しました。また、人気マンガ『ちびまる子ちゃん』の作者・さくらももこさんの悲報にも多くの人が「**哀桃之悲**」を表わしました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

\*\*\*\*\*

今年、多くの自然災害に見舞われ途方にくれた人々の心を温かくしてくれたのが、スーパーボランティアの尾畠春夫さん。山の中で行方不明となった2歳の男児を「**山中子索**」で3日ぶりに無事発見し、自らの手で家族に引き渡すとの約束を見事に果たしました。また、西日本豪雨を含む幾多の被災地での支援活動にも称賛の声が相次ぎました。謙虚な姿勢と相手を思いやる気持ちに心打たれた人も少なくなかったのではないのでしょうか。

「平成」も残りわずかとなり、新たな時代が幕を開けようとしています。この30年間を振り返りながら、迎える来年が、明るく希望あふれる新時代となることを願っています。

◆◆◆ 優秀作品10編 ◆◆◆

(敬称略・順不同)

もうかしゅうらい  
**猛夏襲来**  
(蒙古襲来)

7月から8月にかけて、全国的に例年を上回る暑さとなり、多くの熱中症患者を出した。

大阪府・渡辺 廣之 ( 65 歳 )

たいりょうはっせい  
**台量発生**  
(大量発生)

今年は台風が多く発生し、次々と日本列島に襲いかかった。

京都府・吉岡 正博 ( 62 歳 )

じしんあんき  
**地震暗来**  
(疑心暗鬼)

北海道で大きな地震の後、ブラックアウトという前代未聞の停電がやって来た。

北海道・横山 和之 ( 47 歳 )

ふるさとのうぜい  
**古里悩税**  
(ふるさと納税)

総務大臣がふるさと納税の見直しを表明。高額な返礼品などの規制に自治体は苦悩している。

千葉県・和田 秀樹 ( 53 歳 )

とよすしじょう  
**豊洲始場**  
(豊洲市場)

築地から豊洲へついに移転、新たな日本の台所の歴史が始まった。

岡山県・大月 昭人 ( 33 歳 )      愛知県・浅岡 圭吾 ( 55 歳 )  
神奈川県・太田 光彦 ( 45 歳 )      神奈川県・大森 俊二 ( 85 歳 )

ちょうべいばかい  
**朝米歩会**  
(朝令暮改)

史上初の米国・北朝鮮の首脳会議を開催。両国が歩み寄って会談につながった。

愛知県・岩谷 暢洋 ( 27 歳 )      神奈川県・井上 博 ( 51 歳 )  
茨城県・後藤 貴弘 ( 40 歳 )

いっしゅうけんめい  
**一蹴懸命**  
(一生懸命)

サッカーW杯での日本代表選手たちの必死な頑張りに心うたれた。

北海道・塚越 毅 ( 64 歳 )

きんのうかんしゃ  
**金農感謝**  
(勤労感謝)

夏の甲子園、金農ナインに感謝の声が続出。

徳島県・安藝 達也 ( 45 歳 )      茨城県・後藤 貴弘 ( 40 歳 )  
秋田県・関谷 正夫 ( 70 歳 )      愛知県・浅岡 圭吾 ( 55 歳 )  
秋田県・奈良 純嗣 ( 36 歳 )

いあつはいし  
**威圧廃止**  
(気圧配置)

あっちでもこっちでもパワハラ問題続出。パワハラはいけません！

奈良県・村上 三佐子 ( 74 歳 )

がんしゅつきぼつ  
**顔出奇没**  
(神出鬼没)

ひょっこりはんが大ブレイク。

茨城県・藤田 将嗣 ( 17 歳 )

◆◆◆ 入選作品40編 ◆◆◆

	創作四字熟語	意味・作者 (敬称略・順不同)	元のことば
政治・経済	<b>通仮流出</b> つうかりゆうしゅつ	仮想通貨取引所に不正アクセスで約580億円の流出被害。 神奈川県・大森 俊二 (85歳)	通貨流出
	<b>賭色公然</b> としよくこうぜん	カジノを中核とする統合型リゾート(IR)実施法が成立。 神奈川県・木本 英男 (57歳)	古色蒼然
	<b>安晋三選</b> あんしんさんせん	9月の自民党総裁選で、安倍晋三首相が3選を果たした。 京都府・吉岡 正博 (62歳) 茨城県・後藤 貴弘 (40歳)	安心安全
	<b>八転十消</b> はってんとしゅう	消費税が8%から10%へ、来年の開始に向けての流れが加速。 京都府・吉岡 正博 (62歳)	発展途上
社会	<b>振袖詐欺</b> ふりそでさぎ	振袖販売業者が成人式の日突然休業。後に詐欺罪で立件。 大阪府・中曾根 太郎 (35歳) 岩手県・内潟 洋大 (30歳) 神奈川県・太田 光彦 (45歳)	振り込め詐欺
	<b>風疹禍惨</b> ふうしんかざん	全国的に風疹にかかった人が増えた。 千葉県・和田 秀樹 (53歳)	風林火山
	<b>隼火竜到</b> しゅんかりゆうとう	「はやぶさ2」が小惑星リュウグウへ到着。 神奈川県・大森 俊二 (85歳)	春夏秋冬
	<b>雨威天変</b> ういてんぺん	昨今の豪雨や地震の頻発で想定外の被害が出ている。 京都府・諸岡 秀憲 (70歳) 北海道・山重 真一 (63歳) 大阪府・渡辺 廣之 (65歳)	有為転変
	<b>対処猛暑</b> たいしよもうしよ	今年の夏は暑さがこれまでにない厳しく、熱中症や脱水症対策が必要だった。 群馬県・与那嶺 真也 (41歳)	大所高所
	<b>夏期休蚊</b> かききゅうか	猛暑のため蚊の活動が鈍り、刺されることがほとんどなかった。 高知県・住友 雅子 (60歳)	夏期休暇
	<b>山中子索</b> さんちゅうこさく	ボランティアの尾島春夫さん、大活躍。 愛知県・桜井 啓子 (64歳)	暗中模索
	<b>応急書置</b> おうきゅうしょち	学習内容が増え、学校に教科書を置いておいても良いという風潮になってきた。 千葉県・和田 秀樹 (53歳)	応急処置
	<b>関災空港</b> かんさいくうこう	台風の影響で滑走路が浸水、連絡橋も事故でとんだ災難に。 東京都・小杉 賢一 (61歳) 千葉県・和田 秀樹 (53歳)	関西空港
	<b>塩線不通</b> えんせんふつう	台風の影響で海水が電線にかかり停電。電車も不通になり大混乱。 群馬県・星野 修志 (68歳)	沿線不通



	創作四字熟語	意味・作者 (敬称略・順不同)	元のことば
社 会	<b>電力感謝</b> でんりょくかんしゃ	台風による停電、北海道地震のブラックアウト、電気の有難さが身に染みた。 大阪府・石橋 直子 (76歳)	電力会社
	<b>逃奔世騷</b> とうほんせいそう	今年はさまざまな逃走事件がおこり、世を騷がせた。 山口県・佐々木 康之 (50歳) 北海道・山重 真一 (63歳)	東奔西走
国 際 情 勢	<b>祝賀王子</b> しゅくがおうじ	英王室ヘンリー王子とメーガン・マークルさんが結婚式をあげ、みんなで祝賀。 神奈川県・大森 俊二 (85歳)	祝賀行事
	<b>一心洞泰</b> いっしんどうたい	タイの洞窟での救出劇、世界中が心を一つに祈った。 茨城県・後藤 貴弘 (40歳)	一心団体
	<b>貿易荒渉</b> ぼうえきこうしょう	貿易摩擦で荒れる米中の貿易交渉。 神奈川県・大森 俊二 (85歳)	貿易交渉
文 化 ・ ス ポ ー ツ	<b>名誉盤界</b> めいよばんかい	羽生善治氏と井山裕太氏に国民栄誉賞。 秋田県・佐藤 和広 (60歳) 神奈川県・木本 英男 (57歳)	名誉挽回
	<b>潜伏遺産</b> せんぷくいさん	「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界文化遺産への登録が決定された。 岡山県・大月 昭人 (33歳) 茨城県・後藤 貴弘 (40歳)	潜伏期間
	<b>対癌賞受</b> たいがんしょうじゅ	本庶佑先生、ノーベル医学生理学賞受賞。 京都府・堀井 弘 (58歳)	大願成就
	<b>免力薬助</b> めんりょくやくじょ	「オプジーボ」の開発につながる研究にノーベル賞。 京都府・堀井 弘 (58歳)	面目躍如
	<b>偉児黒白</b> いじこくはく	世界オセロ選手権で、小学5年生の日本人少年が、歴代最年少の優勝を果たした。 大阪府・渡辺 廣之 (65歳)	時時刻刻
	<b>一投両打</b> いっとうりょうだ	投げても打ってもすごい大谷翔平選手。 東京都・谷本 彩乃 (27歳) 埼玉県・浜野 光明 (48歳)	一刀両断
	<b>冬季燦然</b> とうきさんぜん	平昌冬季五輪で史上最多メダル獲得。 茨城県・後藤 貴弘 (40歳)	光輝燦然
<b>結弦実行</b> ゆうげんじっこう	「誰が取ろうが、僕も取ります」まさしく、有言実行。 東京都・渡辺 めぐみ (47歳) 東京都・奥田 美樹子 (53歳) 神奈川県・堀口 直子 (62歳)	有言実行	
<b>一身同隊</b> いっしんどうたい	冬季五輪のパシュートで金メダル獲得。 愛知県・古川 明夫 (70歳)	一心団体	

	創作四字熟語	意味・作者 (敬称略・順不同)	元のことば
文 化 ・ ス ポ ー ツ	<b>娘軍奮銅</b> こぐんふんどう	カーリング娘たちが奮闘し、銅メダルを獲得。 愛知県・岩谷 暢洋 (27歳)	孤軍奮闘
	<b>才色犬備</b> さいしよくけんび	美少女スケーター、ザギトワ選手が見事な金メダル。ご褒美に秋田犬もゲット！ 大阪府・五十嵐 克顕 (71歳)	才色兼備
	<b>百夏繚乱</b> ひゃっかりょうらん	第100回の全国高校野球選手権大会。もつれた好試合が多く見られた。 滋賀県・井田 あさみ (65歳)	百花繚乱
	<b>春夏再桐</b> しゅんかさいとう	大阪桐蔭高校、甲子園史上初、2度目の春夏連覇。 徳島県・安藝 達也 (45歳)	春夏秋冬
	<b>六冠笑嬢</b> ろっかんしょうじょう	アジア大会の競泳で六冠を果たした池江璃花子選手が、笑顔でMVPを受賞した。 大阪府・渡辺 廣之 (65歳) 徳島県・安藝 達也 (45歳)	六根清浄
	<b>全米庭覇</b> ぜんべいていは	女子テニスの大坂なおみ選手が全米オープン制覇。 茨城県・後藤 貴弘 (40歳)	全米制覇
	<b>角界騒揺</b> かっかいそうよう	日馬富士関引退や貴乃花親方の突然の引退など、今年も揺れた大相撲。 岡山県・須々木 伸介 (49歳) 奈良県・村上 三佐子 (74歳) 東京都・山本 桂子 (55歳) 大阪府・渡辺 廣之 (65歳)	隔靴搔痒
流 行 ・ 芸 能	<b>踊米繁盛</b> ようべいはんじょう	『U.S.A.』が大ヒット。皆さん歌って踊って盛り上がった。 茨城県・後藤 貴弘 (40歳)	商売繁盛
	<b>大入万引</b> おおいりまんいん	カンヌ国際映画祭で『万引き家族』が最高賞パルムドールを受賞した。 神奈川県・大森 俊二 (85歳)	大入満員
	<b>哀桃之悲</b> あいとうのひ	さくらももこ先生に日本と世界のファンから悲しみの声。 茨城県・後藤 貴弘 (40歳)	哀悼の意
	<b>安室降歌</b> あんしつこうか	多くのアムラーたちに惜しまれつつ、平成の歌姫・安室奈美恵さん引退。 東京都・関根 寛 (59歳)	温室効果
	<b>顔面笑白</b> がんめんしょうはく	お笑い芸人のくっきーさんによる白塗りの顔まねが流行り、たくさんの人々を笑わせた。 愛知県・岩谷 暢洋 (27歳)	顔面蒼白

# 審査員コメント

## 俵 万智 (歌人)

なんといっても災害の多い年だったと、あらためて感じました。蒙古並みの激しさを感じさせる「**猛夏襲来**」、大量の台風に振り回された「**台量発生**」、地震の後のブラックアウトをとらえた「**地震暗来**」など、いずれも漢字の簡潔さが生きています。「**古里悩税**」「**豊洲始場**」は、一文字の入れ替えで、見事に今年という言葉になりました。漢字一字で国を表わす日本語を利用した「**朝米歩会**」、元の四字熟語のようにはなりませんように。

「**一蹴懸命**」「**金農感謝**」などスポーツの話題も多い年でした。「**威圧廃止**」は新四字熟語としても使えそうですね。「**顔出奇没**」は元の四字熟語との響き合いが魅力です。

これまでの講評で「今年の新機軸」としてローマ字の使用や元の言葉の意外性、訓読みの活用などを挙げてきたせいか、ややひねりの効きすぎた作品が増えたように感じました。「一目瞭然」のシンプルな楽しさも、大切にしたいと思います。

月	主 な 出 来 事	作 品 例
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>●着物レンタル業者が突然店舗を閉鎖。晴れ着姿を披露できない新成人続出</li> <li>●不正アクセスにより仮想通貨取引所から約580億円相当の仮想通貨が流出</li> </ul>	振袖詐欺 (ふりそでさぎ) 通仮流出 (つうかりゅうしゅつ)
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>●冬季オリンピック平昌大会が開幕。日本勢が獲得したメダルは史上最多の13個 <ul style="list-style-type: none"> <li>・フィギュアスケート男子で羽生結弦選手が「金」、2連覇達成</li> <li>・スピードスケート女子団体パシュートで日本が五輪新記録で「金」</li> <li>・カーリング女子、日本 (LS北見) が英国を破り「銅」。日本初のメダル獲得</li> </ul> </li> <li>●永世七冠達成の羽生善治氏と2度全七冠独占の井山裕太氏に国民栄誉賞</li> </ul>	冬季燦然 (とうきさんぜん) 結弦実行 (ゆうげんじっこう) 一身同隊 (いっしんどうたい) 娘軍奮銅 (こぐんふんどう) 名誉盤界 (めいよばんかい)
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大相撲の貴乃花親方が内閣府に告発状提出。傷害事件への協会の対応で</li> <li>●お笑いコンビ「野性爆弾」のくっきーさんが台湾で海外初の個展開催</li> <li>●知的財産侵害を理由に米国が中国製品への制裁措置として25%の追加関税決定</li> <li>●米大リーグ、エンゼルスの大谷翔平選手がメジャーデビュー。初打席、初安打</li> </ul>	角界騒揺 (かつかいそうよう) 顔面笑白 (がんめんしょうはく) 貿易荒涉 (ぼうえきこうしょう) 一投両打 (いっとうりょうだ)
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>●レスリング女子選手へのパワハラを協会が認定。強化本部長が辞任へ</li> <li>●松山刑務所からの脱走受刑者を広島市内で逮捕。泳いで本州に渡ったと供述</li> </ul>	威圧廃止 (いあつはいし) 逃奔世騒 (とうほんせいそう)
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>●英王室のヘンリー王子と米女優メーガン・マークルさんが挙式</li> <li>●カンヌ国際映画祭で『万引き家族』が最高賞パルムドールを受賞</li> <li>●平昌五輪フィギュアスケート女子「金」のザギトワ選手に秋田犬を贈呈</li> </ul>	祝賀王子 (しゅくがおうじ) 大入万引 (おおいりまんいん) 才色犬備 (さいしよくけんび)
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「DA PUMP」約3年半ぶりのシングル『U. S. A.』発売。大ヒットに</li> <li>●シンガポールで初の米朝首脳会談。朝鮮半島の完全非核化合意文書に署名</li> <li>●サッカーW杯ロシア大会が開幕。日本は初の8強ならず</li> <li>●「はやぶさ2」が小惑星「リュウグウ」到着。生命の起源など探査</li> <li>●「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界文化遺産に登録決定</li> </ul>	踊米繁盛 (ようべいはんじょう) 朝米歩会 (ちょうべいぼかい) 一蹴懸命 (いっしゅうけんめい) 隼火竜到 (しゅんかりゅうとう) 潜伏遺産 (せんぷくいさん)
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>●タイ洞窟、少年ら13人全員救出。奇跡の生還、閉じ込めから18日目</li> <li>●カジノを中核とする統合型リゾート(IR)実施法が成立</li> <li>●猛暑、埼玉県熊谷市で41.1度を記録。国内最高記録を5年ぶりに更新</li> </ul>	一心洞泰 (いっしんどうたい) 賭色公然 (としょくこうぜん) 対処猛暑 (たいしよもうしょ) 猛夏襲来 (もうかしゅうらい)
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第100回全国高等学校野球選手権大会記念大会が開幕。史上最多56校が出場 <ul style="list-style-type: none"> <li>・金足農業高校、秋田県勢として第1回大会以来103年ぶりに決勝進出</li> <li>・大阪桐蔭高校が史上初となる2度目の春夏連覇達成</li> </ul> </li> <li>●殺虫剤大手が第一四半期決算発表。猛暑で蚊の活動量が低下し、需要が低迷</li> <li>●山口県で行方不明の2歳男児をボランティアの尾畠春夫さんが発見</li> <li>●アジア大会で、競泳女子の池江璃花子選手がアジア女子最多となる6冠達成</li> <li>●漫画家さくらももこさん死去。代表作『ちびまる子ちゃん』が人気</li> </ul>	百夏繚乱 (ひゃっかりょうらん) 金農感謝 (きんのうかんしゃ) 春夏再桐 (しゅんかさいとう) 夏期休蚊 (かききゅうか) 山中子索 (さんちゅうこさく) 六冠笑嬢 (ろっかんしょうじょう) 哀桃之悲 (あいとうのひ)
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>●重すぎるランドセル対策で、文科省が「置き勉」認めるよう全国に通知へ</li> <li>●台風21号上陸、各地の新幹線が運転見合わせ。空の便も相次いで欠航 <ul style="list-style-type: none"> <li>・関西国際空港の滑走路や施設の一部が浸水、連絡橋も破損被害</li> </ul> </li> <li>●「平成30年北海道胆振東部地震」が発生、北海道内のほぼ全域で停電</li> <li>●女子テニスの大坂なおみ選手が全米オープン・シングルス優勝の快挙</li> <li>●ふるさと納税の高額返礼品を見直しへ。総務省が自治体調査を発表</li> <li>●「平成の歌姫」安室奈美恵さん引退。90年代半ば「アムラー」が社会現象</li> <li>●自由民主党の総裁選挙で、安倍晋三首相が連続3選</li> <li>●風疹拡大、厚労省が妊婦家族は抗体検査を受けるように呼び掛け</li> <li>●台風24号、新幹線や在来線、空の便など各地で計画的に運転を見合わせ</li> </ul>	応急書置 (おうきゅうしょち) 雨威天変 (ういてんぺん) 関災空港 (かんさいくうこう) 地震暗来 (じしんあんき) 電力感謝 (でんりよくかんしゃ) 全米庭覇 (ぜんべいていは) 古里悩税 (ふるさとのうぜい) 安室降歌 (あんしつこうか) 安晋三選 (あんしんさんせん) 風疹禍惨 (ふうしんかざん) 台量発生 (たいりょうはっせい)
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本庶佑京都大特別教授にノーベル医学生理学賞。新しいがん治療法を発見</li> <li>●京成線が全線運転見合わせ。台風24号の塩害による複数の電線出火で</li> <li>●新「日本の台所」東京・豊洲市場が開場。築地市場は解体工事を開始</li> <li>●世界オセロ選手権で小学5年生・11歳の福地啓介君が優勝。最年少記録更新</li> <li>●安倍首相が臨時閣議で来年10月、消費増税10%に引き上げを表明</li> </ul>	対癌賞受 (たいがんしょうじゅ) 免力薬助 (めんりよくやくじょ) 塩線不通 (えんせんふつう) 豊洲始場 (とよすしじょう) 偉児黒白 (いじこくはく) 八転十消 (はってんとしょう)
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「ひょっこりはん」が新語・流行語大賞候補にノミネート</li> </ul>	顔出奇没 (がんしゅつきぼつ)